

# 第110回本試験ライティング問題 模範解答例

2024年11月16日に行われました、第110回本試験ライティング問題の模範解答を記載いたします。本試験ではライティング問題として実際にテーマに沿った文章を作成して頂きます。次回以降の本試験の参考にしてください。

【解説】ライティング問題は減点方式を採用しています。

日本クラウドソーシング検定協会ホームページの解答速報および問題例

([https://crowd-kentei.or.jp/about\\_test/grading/](https://crowd-kentei.or.jp/about_test/grading/))

ではより詳しくライティング問題のルールを記載しておりますので、是非ご参照ください。

模範解答では下記の点などを守っています。

- ・キーワードは必ず文中で使用してください。
- ・記述すべきテーマから外れないように記述してください。
- ・規定された文字数を超えないようにしてください。
- ・「です・ます」「である・だ」等表記の統一を行ってください。
- ・主語、述語等は正しく使用してください。

【問.1】登山について240文字以上300文字以内で記述してください。

\*文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。

\*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

\*キーワードは必ず文章内で使用してください。

\*書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】登山は自然との一体感を味わえる特別な体験でもあり、趣味としている方も多くいるようです。

キーワード1：靴

キーワード2：初心者

【模範解答1】271文字

登山が趣味という人は多いのではないのでしょうか。近年では登山ブームもあり、健康管理の中の運動としても良いといわれています。登山用の店では、これから登山を始めるという**初心者**用のグッズコーナーも設けられているほどです。また足元は大切といわれますが、**靴**は大切なアイテムになるでしょう。山道はごつごつしていたり、傾斜が激しい坂道もあつたりしますので、しっかりと対応できる靴でなければいけません。万全な服装、装備をして安全に楽しみたいものです。目標の頂上に着いた時の達成感と感動は何ともいえないものがあります。体だけではなく、心の健康にも繋がるでしょう。

【模範解答2】248文字

登山は自然と触れ合いながら散策ができ、誰でも楽しむことができます。日本には様々な山があり、形や大きさは異なるので登山の難易度はそれぞれ違います。例えば、**初心者**の方には筑波山や高尾山などがおすすめです。これらの山は山頂が比較的low、傾斜も緩いので登りやすくなっています。また、上級者や経験者は富士山など

の大きい山に登ってみると良いでしょう。山頂から見える景色はどの山も綺麗に見えるので、記念に写真を撮って思い出とする方も多いです。皆さんも自分に合った靴や登山コースを見つけてみてはいかがでしょうか。

### 【模範解答 3】 286 文字

数ある趣味の中で、登山が趣味であるという方も多いのではないのでしょうか。登山の魅力は、美しい景色や澄んだ空気などの自然を、全身で感じることができることです。また、自身の足で頂上まで辿り着いた時の達成感、なんともいえない特別なものでしょう。ただ、登山は危険も伴うため、事前の準備が必要です。例えば、綿の肌着は着心地は良いかもしれませんが、汗をかくとなかなか乾きづらく、濡れたままだと体温を奪ってしまいます。また、靴も新品をいきなり使うのではなく、登山用のものを事前に履き慣らしておくことで、靴ずれや怪我を防げます。特に初心者は、正しい装備を選んで快適な登山を楽しみましょう。

### 【問.2】 辞書について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

- \*文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。
- \*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。
- \*キーワードは必ず文章内で使用してください。
- \*書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】 辞書はその言葉の持つ意味や用法を調べるために必要なツールです。

キーワード1 : アプリ

キーワード2 : 受験

### 【模範解答 1】 277 文字

学校の授業でも扱うことがありますので、一生の内に一回でも辞書を引いたことがあるという人は多いでしょう。学校では、国語辞典、漢字辞典等を主に使用しますが、わからない言葉や漢字を調べる際に役立つアイテムです。そして受験を控えている受験生には必須のアイテムともいえます。しかし、今ではインターネットが普及しているので、辞書を引くという行為は稀かもしれません。またスマホやタブレットの辞書アプリで検索して調べることの方が多いのではないのでしょうか。アプリであれば、家だけではなく外出先での勉強でも手軽に使用することができるので、とても利便性が高いといえるでしょう。

### 【模範解答 2】 274 文字

受験勉強において辞書は欠かせないツールですが、近年は紙の辞書の代わりにアプリを活用する人が増えています。辞書アプリは、スマートフォンやタブレットで使用できるため、重い辞書を持ち歩く必要がなく、外出先や移動中でも手軽に調べ物が可能です。また、多くのアプリには検索機能が搭載されており、単語を素早く引き出せるため、効率的な学習ができます。さらに、発音音声や例文機能を備えたアプリもあり、英語などの語学学習においてとても役立ちます。受験生にとって時間は貴重です。辞書アプリを活用することで、調べ物にかかる時間も短縮でき、学習の質の向上が見込めるでしょう。

### 【模範解答 3】 266 文字

受験勉強や調べ物の際に、辞書を利用することはよくあります。辞書はその言葉の意味や使い方、外国語などを調べるために用いられるツールです。ひと昔前までは分厚く、重い辞書を使って単語を調べたものですが、インターネットの普及した現在では、スマートフォンの辞書アプリで簡単に素早く調べることができます。また辞書

アプリの便利なところは、持ち運びやすく、手軽に調べ物ができることなどでしょう。そして、特に学生にとって便利な機能は英語などの発音機能です。文字だけでは分からない、正しい発音を学ぶことができるので、受験勉強に一役買ってくれるでしょう。

**【問.3】パンフレットについて 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。**

- \*文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。
- \*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。
- \*キーワードは必ず文章内で使用してください。
- \*書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

**【書き出し例文】**パンフレットは企業や団体などが提供しているサービスや、製品の情報を分かりやすく伝えるために活用されています。

キーワード1：商品

キーワード2：デジタル

**【模範解答 1】 290 文字**

情報を仕入れるために、先ずパンフレットを見るという人は多いのではないのでしょうか。店頭では、色々な商品  
のパンフレットが置かれていて、性能や機能を一見することができ、手軽に比較することもできる便利なツール  
です。作成側も、何を伝えたいかや見た目のインパクトを考えて作られていますので、商品のアピールにも一役  
買っています。近年では、電子化が進んでいるので紙のパンフレット以外にも、デジタルパンフレットも多く見  
かけます。ネットショッピングをする人にとっては、店頭に行かなくても良いという利点があるのではないで  
しょうか。また、紙を発行しない分エコに繋がり、これからの主流になるかもしれません。

**【模範解答 2】 274 文字**

パンフレットは、商品やサービスの魅力を伝えるための重要なツールです。最近ではデジタル化が進み、紙のパ  
ンフレットと併せてデジタルパンフレットが注目を集めています。デジタルパンフレットは PDF ファイルやホ  
ームページのような形式で提供されることが多く、印刷や配送のコストを削減できるだけでなく、手軽に顧客へ  
届けられる利点があります。また、画像や動画、リンクを埋め込むことで、商品やサービスの詳細をよりわかり  
やすく伝えることが可能です。紙のパンフレットとデジタル版を使い分けることで、幅広い顧客層に対応し、商  
品の魅力を最大限にアピールすることができるでしょう。

**【模範解答 3】 279 文字**

商品の魅力や情報を多くの人に伝えられるツールとして、パンフレットが活用されることはよくあります。どの  
企業や団体も工夫して読みやすく、理解されやすいパンフレットを作ることを心がけているでしょう。以前の主  
流は紙媒体であり、嵩張る、破損しやすい、大量の破棄が出るなど課題点がありました。しかし、近年ではデジ  
タルパンフレットの登場により、それらの課題が改善されました。環境に優しく、印刷コストも抑えられ、色彩  
もより実物のものと相違ない、リアルなものとなりました。そういったメリットがあるため、これからはデジ  
タルパンフレットが主流になる世の中になっていくことでしょう。

**【問.4】人前で話すコツについて 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。**

- \*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

\*文字数は下にカウントされています。ご参考ください。

\*書き出し例文を参考にして文章を書いてください。書き出し例文をそのまま使用することは禁止です。

\*この問題にキーワードはありません。自由に記述してください。

【書き出し例文】人前で話す際、緊張しやすいためにリラックスすることが大切だと言われています。

### 【模範解答 1】 337 文字

普段、気の知れた仲間内ではおしゃべりでも、人前で話すとなると、うまく話せない方も多いのではないのでしょうか。しかし、プレゼンや発表などで、どうしても人前で話さなければならない場面に遭遇することもあるでしょう。そんな時、人前で話すコツがいくつかあります。まずはリラックスすることです。緊張していると、言葉に詰まったり、言っていることが分からなくなったりしてしまいます。おすすめのリラックス法は、話し始める前に深呼吸することです。それだけでもリラックス効果は得られるはずです。もし、人前で話さなければならないタイミングが事前に分かっている場合は、本番までにシミュレーションや練習をしておく、落ち着いて話すことができます。普段から人の目を意識して話すことも良い訓練になるでしょう。

### 【模範解答 2】 344 文字

人前で話すことが苦手な人は多いのではないのでしょうか。人前で話すコツとして、目の前の人は皆カボチャだと思え、と言うことをよく耳にします。これは、人と思わないことで緊張をほぐし、リラックスして話せることと解説されます。リラックスすることはとても大切なことですが、初めてのことで難しいと言えるでしょう。初めての面接、初めてのプレゼン等、経験したことがないことは、どうしても緊張してしまいます。しかし、場数を踏めば慣れてくると言われていますので、経験が大切とも言えそうです。また緊張をほぐす方法として、深呼吸をすれば気持ちが落ち着くと言うものがあります。心を落ち着けて呼吸を整えると良さそうです。恰好付けずに、等身大の自分で自信を持って、伝えたいことを話すことが、人前で話すコツとも言えそうです。

### 【模範解答 3】 372 文字

人前で話すことは、多くの人にとって緊張する場面ですが、いくつかのコツを押さえることで自信を持って話せるようになります。例えば、話す内容をしっかり準備することは大切です。スライドやメモを使い、伝えたいポイントを整理しておく、話の流れがスムーズになります。また事前のリハーサルを行うのも良いでしょう。鏡の前で練習したり、録音して自分の話し方を確認したりすることで改善点が見えてきます。そして話す際には、最初に視線を聴衆に向け、ゆっくりと話し始めることで自分も相手も落ち着けます。さらにジェスチャーや表情を交えて話すと、聴衆の関心を引きやすくなります。その上で緊張を和らげるために深呼吸したり、話す前にストレッチしたりするのも効果的です。人前で話す力は練習によって向上します。小さな場面での発表を積み重ね、徐々に慣れていくことが成功への第一歩です。

# ライティング問題-総評-

第110回 WEB ライティング技能検定 本試験を受験頂いた皆様、お疲れ様でした。

ここでは今回の第110回 WEB ライティング技能検定 本試験 ライティング問題の総評をお伝えいたします。

今回の本試験では、4択問題において満点、または満点に近い得点の方がほとんどでした。4択問題は引き続き満点を目指す気持ちで学習を続けて下さい。

実技のライティング問題では、クラウドソーシング上では納品物として承認され難く試験上でも大きく減点対象となる内容（例えば主観的な表現や違うテーマの文章など）が見受けられた他、同様な表現の繰り返し、誤変換や誤入力、短い文章の連続、助詞の使用法や誤字など細かいミス、文章表現として不自然さが感じられるものが目立ちました。今回惜しくも不合格となってしまった方は、本協会より案内しております解答速報、総評、また教材などをご参考にライティングスキル向上を目指し、学習に励んで下さい。

ライティング問題の総評では、より細かく、一部の方の解答を参考にしてご説明いたします。

まだライティングに自信がない方もライティングに自信がある方も総評を参考に学習して頂ければ幸いです。

\*今回受験頂いた方の中から主な減点対象を抜粋して総評に加えさせて頂いております。

## 実技 ライティング問題の個別解答に対する減点箇所

### 問1 登山について240文字以上300文字以内で記述してください。

キーワード1：靴 デザイン2：初心者

#### 【解答例1】

「先日、登山好きの友人から、最近、山に登る人が増えたんだけど、みんな軽装なんだよ。靴もスニーカーはまだマシ。中にはパンプス履いてる人もいて驚く。案の定、足を痛めてリタイアしてるわ。という話を聞きました。」

上記解答例は「先日、登山好きの友人から～という話を聞きました」という主観的な表現がみられます。時に「私は●●です」「●●だと思います」のような表現は筆者の意見が強くなり感想文のような内容になってしまいます。またそのような文章はクラウドソーシングサイトで承認を得られないことも多くありますので、主観的な表現を使わないように注意しましょう。

#### 【解答例2】

「特に登山靴選びはとても重要で、通常のスニーカー等では足が疲れてしまったり、怪我をしまったりします。」

「種類はたくさんあり、カットの高さ、ソールの厚さ、防水性、などを考慮して選びます。」

上記解答例では文章中に「等」「など」のように異なる表現が混在しております。

#### 【修正例2】

「特に登山靴選びはとても重要で、通常のスニーカー**など**では足が疲れてしまったり、怪我をしてしまったりします。」

上記修正例では、「など（ひらがな表記）」に統一しました。文章中に表記ゆれが混在すると、読者に読み難さや違和感を与えてしまいますので注意しましょう。またこのようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

---

### 【解答例 3】

「自身に合った靴で**是非**楽しく登山をしてみ**てはいかがでしょうか。**」

上記解答例は、副詞の係り受けに誤りがあります。

### 【修正例 3】

「自身に合った靴で是非楽しく登山をしてみ**てください。**」

副詞「是非」に対しては、「～ほしい/ください」のような願望を表す表現が正しい係り受けとなります。そのため上記修正例では文意を鑑みて、「見つけてみてください」という表現に修正を行いました。正しい係り受けの表現を行わないと、読者に違和感を与えかねませんので注意しましょう。またこのようなことは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

---

### 【解答例 4】

「靴が合わない**と靴づれ**や疲労の原因になるため、」

上記解答例では、「靴づれ」が誤入力となります。

### 【修正例 4】

「靴が合わない**と靴ずれ**や疲労の原因になるため、」

上記修正例では、誤入力を修正しました。「靴ずれ」が正しい表現となります。特に WEB ライティングでは誤字脱字、誤変換が起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤入力だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

---

### 【解答例 5】

「コロナ禍**が**終息し多くの**人**が観光やアウトドアを楽しむようになって、再びブームになりそうなもの**が**登山です。」

上記解答例では、1文に助詞である「が」が多用された文章です。

### 【修正例 5】

「コロナ禍が終息し多くの人が観光やアウトドアを楽しむようになって、再びブームになりそうなものは登山です。」

上記修正例では、文意を鑑みて助詞を調整し、文章を修正いたしました。助詞の使い方を誤ると、本来伝えたい内容が上手く読者に伝わらなくなってしまうので注意しましょう。

また一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

---

## 問2 辞書について240文字以上300文字以内で記述してください。

キーワード1：アプリ キーワード2：受験

---

### 【解答例1】

「辞書は、言葉の意味が分からないときに調べることができる便利なものです。」

「学校の授業や家での勉強の時などに一度は使ったことがあるでしょう。」

上記解答例では文章中に「とき」「時」のように異なる表現が混在しております。

### 【修正例1】

「学校の授業や家での勉強のときなどに一度は使ったことがあるでしょう。」

上記修正例では、「とき（ひらがな表記）」に統一しました。文章中に表記ゆれが混在すると、読者に読み難さや違和感を与えてしまいますので注意しましょう。またこのようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

---

### 【解答例2】

「スマホが手元にあるときは、いつでもどこでも調べたい言葉を調べることができます。」

「アプリだけではなく、紙媒体の辞書の使い方も身につけておかねばなりませんね。」

上記解答例は、口語表現と文語表現が混在する文章です。

### 【修正例2】

「アプリだけではなく、紙媒体の辞書の使い方も身につけておかねばなりません。」

上記修正例では「なりませんね」の口語表現を「なりません」という文語表現に修正を行いました。このように口語表現と文語表現が混在してしまうと、場合によって読者に違和感を与えてしまいますので注意しましょう。

---

### 【解答例3】

「それが今やインターネットの辞書アプリをインストールだけで、スマートフォンやパソコンがあればいつでもどこでも、ネット上の英文に沿って和訳してくれるようになりました。」

上記解答例では、「インストールだけで」が誤入力となります。

### 【修正例 3】

「それが今やインターネットの辞書アプリを**インストールするだけで**、スマートフォンやパソコンがあればいつでもどこでも、ネット上の英文に沿って和訳してくれるようになりました。」

上記修正例では、誤入力を修正しました。「インストールするだけで」が正しい表現となります。特に WEB ライティングでは誤字脱字、誤変換が起りやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤入力だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

---

### 【解答例 4】

「さらに、発音音声や例文機能を備えたアプリもあり、英語などの語学学習において**非常に**役立ちます。」

上記解答例では、1文に助詞である「に」が多用された文章です。

### 【修正例 4】

「さらに、発音音声や例文機能を備えたアプリもあり、英語などの語学学習において**とても**役立ちます。」

上記修正例では、文意を鑑みて助詞を調整し、文章を修正いたしました。助詞の使い方を誤ると、本来伝えたい内容が上手く読者に伝わらなくなってしまうので注意しましょう。

また一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

---

### 【解答例 5】

「辞書は関連する言葉の全てを掲載しているため紙にすると膨大な厚さの本になってしまうことがほとんどです。」

上記解答例は、読点が適切に使われていないため読み難い文章となっております。

### 【修正例 5】

「辞書は関連する言葉の全てを掲載しているため、紙にすると膨大な厚さの本になってしまうことがほとんどです。」

上記修正例では、文意を鑑みて適切な場所に読点を追加する形で修正しました。読点は適切に使用すると読者にとって読みやすい文章となりますので、上手く使うよう心がけましょう。

---

**問 3** パンフレットについて 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

キーワード 1 : 商品 キーワード 2 : デジタル



---

### 【解答例 1】

「パンフレットは少ないページ数から多くの情報を得ることができます。昨今では、Web 上で見ることができるデジタルパンフレットも登場しています。」

上記解答例では、文と文の間に適切な接続詞が使用されていません。

### 【修正例 1】

「パンフレットは少ないページ数から多くの情報を得ることができます。そして昨今では、Web 上で見ることができるデジタルパンフレットも登場しています。」

上記修正例では、接続詞「そして」を追記いたしました。適切な接続詞を用いることでその前後の文章が繋がり、読みやすい文章になります。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

---

### 【解答例 2】

「最近ではAI やアプリを使って自分自身で制作したりすることも可能だそうです。」

上記解答例では、1 文の中に並列を表現する「～たり」が1 度のみしか使用されていません。

### 【修正例 2】

「最近ではAI やアプリを使って自分自身で制作することも可能だそうです。」

上記修正例では「～たり」を削除する形で修正し、文意を鑑みて調整いたしました。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

---

### 【解答例 3】

「手作りのデザインなどに紙ならではの温かみを感じる人もいます。」

上記解答例は、助詞が不足しているため文意が伝わり難い文章となっております。

### 【修正例 3】

「手作りのデザインなどに紙ならではの温かみを感じる人もいます。」

上記修正例では、文意を鑑みながら助詞「の」を追記し、自然な形となるよう修正いたしました。このようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

---

### 【解答例 4】

「最近ではタブレットでプレゼンするようなデジタルタイプのパンフレットも見られるようになりました。」

「この様にパンフレットは進化を遂げているのです。」

上記解答例では文章中に「ように」「様に」のように異なる表現が混在しております。

#### 【修正例 4】

「このようにパンフレットは進化を遂げているのです。」

上記修正例では、「ように（ひらがな表記）」に統一しました。文章中に表記ゆれが混在すると、読者に読み難さや違和感を与えてしまいますので注意しましょう。またこのようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

---

#### 【解答例 5】

「提供する側にとっては負担かもしれませんが、紙かデジタルかどちらの方がより効果的かをよく見極め提供することが大切です。」

上記解答例では、1文に助詞である「が」「か」が多用された文章です。

#### 【修正例 5】

「提供する側にとっては負担かもしれませんが、大切なのは紙とデジタルどちらの方がより効果的かをよく見極め提供することです。」

上記修正例では、文意を鑑みて助詞を調整し、文章を修正いたしました。助詞の使い方を誤ると、本来伝えたい内容が上手く読者に伝わらなくなってしまうので注意しましょう。

また一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

---

問 4 人前で話すコツについて 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。

キーワード なし

---

#### 【解答例 1】

「内容を忘れてしまったり、言い間違いをしまったり、緊張してしまいたいことを伝えることができません。」

上記解答例では、1文に助詞である「を」が多用された文章です。

#### 【修正例 1】

「内容を忘れてしまったり、言い間違いをしまったり、緊張してしまいたいことが伝えられません。」

上記修正例では、文意を鑑みて助詞を調整し、文章を修正いたしました。助詞の使い方を誤ると、本来伝えたい内容が上手く読者に伝わらなくなってしまうので注意しましょう。

また一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文

章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

---

### 【解答例 2】

「緊張を和らげるには、深呼吸したり、話す前にストレッチをするのも効果的です。」

上記解答例では、1文の中に並列を表現する「～たり」が1度のみしか使用されていません。

### 【修正例 2】

「緊張を和らげるには、深呼吸したり、話す前にストレッチをしたりするのも効果的です。」

上記修正例では、「～たり」を2回使用し、また文意を鑑みながら自然な形に修正しました。

特に WEB ライティングでは誤字脱字が起りやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

---

### 【解答例 3】

「**そうゆうこと**もあり、人前で話すコツやテクニックについて論じられている著書やサイトは数多くあります。」

上記解答例では、「**そうゆうこと**」が誤入力となります。

### 【修正例 3】

「**そういうこと**もあり、人前で話すコツやテクニックについて論じられている著書やサイトは数多くあります。」

上記修正例では、誤入力を修正しました。「**そういうこと**」が正しい表現となります。特に WEB ライティングでは誤字脱字、誤変換が起りやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤入力だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

---

### 【解答例 4】

「失敗を**気に**せず練習していけば、いずれは緊張**せずに**話せる**ようになる**でしょう。」

上記解答例では、1文に助詞である「**に**」が多用された文章です。

### 【修正例 4】

「失敗を**気にせず**練習していけば、いずれは緊張**もせず**話せる**ようになる**でしょう。」

上記修正例では、文意を鑑みて助詞を調整し、文章を修正いたしました。助詞の使い方を誤ると、本来伝えたい内容が上手く読者に伝わらなくなってしまうので注意しましょう。

また一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

---

### 【解答例 5】

緊張を完全に取り除くことは難しいかもしれませんが、少しでも和らげるためには以下の方法を試してみるのはいかがでしょうか。

#### 1.深呼吸する

話始める前に息を整えましょう。

#### 2.イメージトレーニングをしておく

しっかり準備をしておくことで自信がきます。

#### 3.ゆっくり話す

緊張すると早く終わりたいと早口になりがちですが、そのせいで詰まったり?んだりしてしまうと余計に緊張します。

上記解答例は、箇条書きの表現となってしまっております。

箇条書きでの記載は、見た目はスッキリしていますが、文章としては内容が薄くなってしまいがちです。そのため、クラウドソーシングサイトで承認を得られないことも多くあります。そして試験でも大きな減点対象となってしまうので、箇条書きではなくしっかりと文章を作成するよう心がけましょう。

---

## 実技 ライティング問題の総合的な減点箇所

---

今回受験頂いた方の内、惜しくも不合格となられた方々に共通する減点箇所としては、**助詞の連続使用や使い方**、**句点読点の使い方**、**誤字脱字や誤変換**、**箇条書きの文章**、**係り受けの違い**などが多く見受けられました。

そして、主観的な文章表現や文脈的に不自然さを感じさせる内容は、読者に読み難さを与えてしまうだけでなく、クラウドソーシング上でも非承認となりやすい文章となります。特に文章中の主語は何なのか、が不明確になると不自然さが強くなってしまいますので注意しましょう。

また、指定キーワードが使われていなかったり、文章の内容が指定テーマから逸脱したり、さらに書き出し例文をそのまま解答に使用すると大幅な減点となります。なので、文章作成後、一度読み返して指定テーマについてしっかりと書かれているか確認するようにしましょう。

他にも 1 文に情報を詰め込み過ぎてしまうと、**助詞の連続使用**など意図しないミスが多くなることがあります。ライティングを終えた際には文章の見直しを行い、誤った表現や意味が通り難い文章の有無などを確認するようにしましょう。